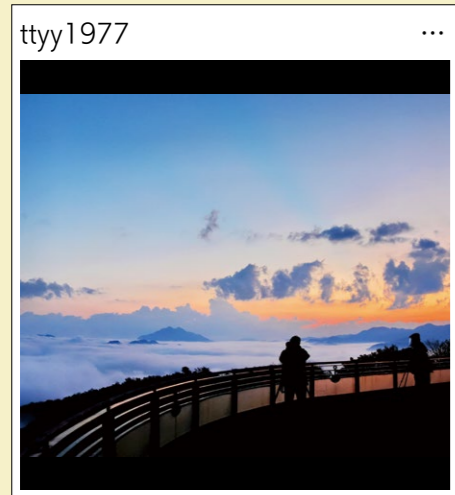


今月のツルいんすた

「#ツルい舞鶴」「#myツルい」のタグが付いたインスタグラムの投稿の中から、シティブランディングプロジェクト(※)メンバーが投稿をピックアップ! 投稿者(写真左上がアカウント名)からのコメントと併せて紹介します。舞鶴の良いところを再発見しましょう。



今月の表紙

朝晩が冷え込み、雲海が発生しやすい季節となりました。雲海は何度も見ているけれど、五老岳からの景色は圧巻です。この日は特に素晴らしかったです。船の甲板から海に浮かぶ小島を眺めるようなイメージで、青葉山、雲海、展望台を入れて撮影しました。この時期、多くの人に見てもらいたい舞鶴の絶景です。

※「舞鶴をまちの内側から元気にしたい」「市民の皆さんにもつとまちへの誇りや愛着を持ってほしい」という思いで令和2年度から始まった事業



赤れんがパーク

雨が降る中、赤れんがに行く、ROYCE 京都の販売カーがなんとMAIZURUという文字の背後に止まっていて、カッコいいと思いテンションが上がりました。



うまいづる

47歳の誕生日に舞鶴に住む兄から、千葉県にいる私の元へ鮮魚を送ってもらいました。舞鶴の美味を転勤先で楽しめる幸せに感謝です。



ハンターズムーン

世界ではさまざまな紛争が起こり、日本でも物価高騰などで生活に影響が起きています。撮影したハンターズムーン(※)を通して、少しでも世界が豊かになることを祈っています。
※10月に観測される満月



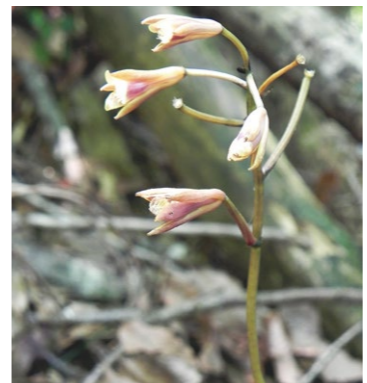
平成18年5月号から連載を始めた「まいづる花図鑑」は、今回で記念すべき200回目を迎えますが、節目となる今回で最終号とさせていただきます。掲載当初から執筆と花の写真を提供いただいた瓜生勝朗さんには大変お世話になりました。最終号は瓜生さんのコメントと併せてお送りします。

- ◆**危険業務従事者叙勲**
- ◆**瑞宝双光章**
- 須崎保幸(朝来中)防衛功労(元2等海尉)
- 田畑祐治(行永)防衛功労(元2等海尉)
- 成瀬芳和(白浜)防衛功労(元1等海尉)
- 西谷和彦(白浜)防衛功労(元1等海尉)
- 船崎貞治(小倉)防衛功労(元2等海尉)
- 柳詰毅(和田)防衛功労(元2等海尉)
- ◆**瑞宝单光章**
- 伊井茂(天波下)防衛功労(元3等海尉)
- 佐野一也(天波下)防衛功労(元3等海尉)
- 中村和弘(行永)防衛功労(元3等海尉)
- 林田慎一(公文名)警察功労(元京都府警部補)
- 平塚大輔(漕瓦)防衛功労(元3等海尉)

- ◆**叙勲、大臣表彰、全国大会出場者**
 - ◆**秋の叙勲**
 - ◆**旭日双光章**
 - 早瀬隆之(東吉原)中小企業振興功労(現京都府中小企業団体中央会副会長)
 - ◆**瑞宝小綬章**
 - 小西保(田中町)防衛行政事務功労(元東北防衛局総務部長)
 - ◆**瑞宝双光章**
 - 森下真美子(大丹生)社会福祉功労(元障害者支援施設「こひつじの苑舞鶴」生活支援員主任)
 - ◆**瑞宝单光章**
 - 大滝敏明(伊佐津)消防功労(元舞鶴市中消防団団長)
- (以上敬称略、11月3日発令)
- ◆**令和5年度全国中学校体育大会第54回全国中学校柔道大会**
 - ◇女子個人57kg級：森脇花乃(城北中3年)
 - ◇女子個人57kg級：赤崎莉紅、椋田優羽(以上、城北中3年)
 - ◆**令和5年度全国JOCジュニアオリンピック夏季水泳競技大会**
 - (8月25日、東京都)
 - ◇女子CS400kg級自由形：川勝姫夏(福知山成美高3年、和田中出身)
 - ◆**JOCジュニアオリンピックカップ第42回全日本ジュニアバドミントン選手権大会**
 - (9月15日、18日、愛知県)
 - ◇ジュニア新人の部(男子単)：大石陽翔(城北中2年)

- ◆**叙勲、大臣表彰、全国大会出場者**
- ◆**令和5年度学校保健及び学校安全表彰(文部科学大臣表彰)を受賞**
- 与保呂小学校学校歯科医 松代隆良
- 昭和55年4月に旧原小学校に学校歯科医として就任して以来、現在に至るまで、学校歯科医としての立場を深く認識し、児童のう歯(むし歯)予防に積極的に取り組み、健康保持増進に尽力されたことが評価されました。

叙勲、大臣表彰、全国大会出場者



ムヨウラン (ラン科)

まいづる花図鑑
【協力】 瓜生勝朗氏

東北地方から九州の常緑広葉樹林下に分布するが、個体数は少ない。長い菌根を腐葉土に伸ばす腐生植物。茎は1株から1〜3本が出て高さ30cmほど、葉緑素のない袴状の短い葉をまばらに付ける。春から夏にかけて茎の先に花序を出し数個の花を付ける。花は初め、白濁色で後に黄褐色となる。長さは2cmで唇弁は3裂する。5年前の7月、市内の山に登ったとき、前を歩いている人に「この花は何ですか」と聞かれたので、見てみると、この花が1本咲いていた。名前は漢字にすると「無葉蘭」で葉がないことから、京都府絶滅寸前種。

瓜生さんからのメッセージ

「まいづる花図鑑」を200回も掲載していただき、舞鶴の花を紹介できたことに感謝しています。平成18年に掲載企画の話をもった時は、まさかこんなに続くとは思っていませんでした。読者の皆さんがおられたからこそ、ここまで続けることができました。掲載された花を見た人が実際に探しに行けるように、季節に合った花を紹介することを心掛けていました。しかし、冬は咲いている花が少なく、これだけ続けると花を探すのも大変だったのが本音です。それでも、読者の皆さんにしっかりと情報を伝えたいという思いで資料を改めて調べ直すなど、私自身も再度勉強するきっかけとなりました。

実は、掲載を続ける中で失敗が2つありました。1つ目は「ウツボグサ」という花を2度紹介してしまったこと。2つ目は「ミヤマカタバミ」という花の名称を誤って掲載してしまったこと。気付いたときは、後悔したものです。掲載を続けていると、うれしいこともあります。読者の人から「この花の別名や地域での呼び名はありますか。食べられますか」などと直接電話をもらうこともありました。この時は、続けてきたことが実を結んだ気がしましたね。

最終号ということで、とても珍しい花を紹介します。私は長い間、舞鶴でさまざまな花を見てきましたが、人生でこの1度しか見ていない貴重な花です。ぜひ特別な花を探してみてください。17年間ご愛読いただきありがとうございました。

